



<CAM インドネシア・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

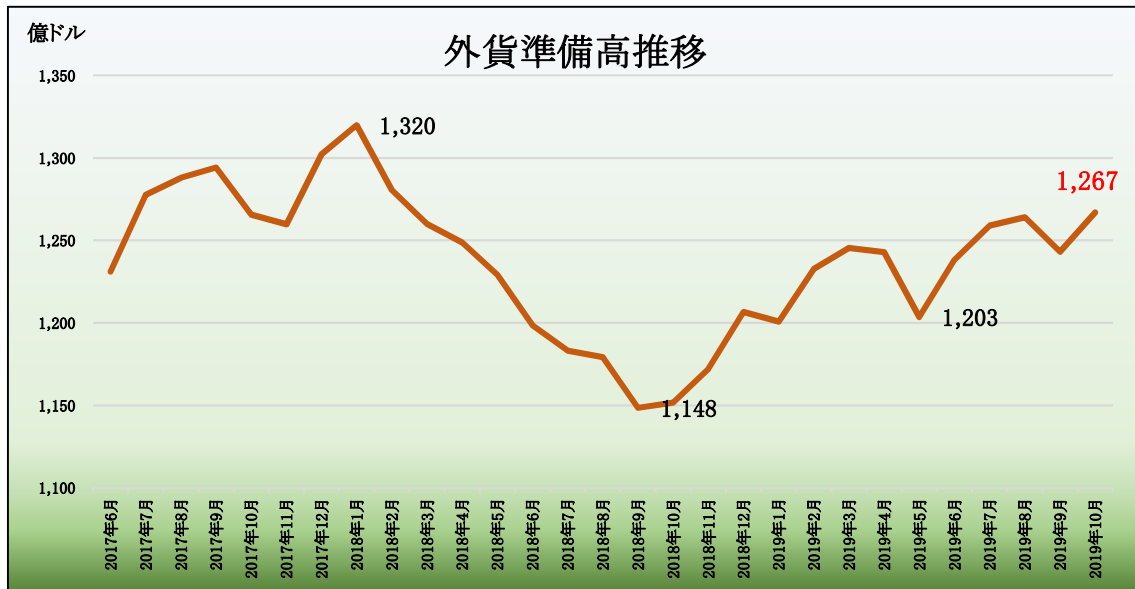
2019年11月8日

インドネシアの外貨準備高
10月末+1.9% (前月比)

インドネシア中央銀行は7日、10月末の外貨準備高が9月末から約1.9%増加し、約1,267億ドル(約13.8兆円)になったと発表した。2か月ぶりの増加となった。

同中銀は、グローバル債券の発行、石油ガス産業の為替差益を増加要因として挙げている。

同国外貨準備高は、輸入代金の7.4カ月分、輸入代金と対外債務の返済額を合わせた額の7.1カ月分に相当する。国際標準とされる輸入代金3カ月分を上回っており、十分な水準を維持している。



出所:インドネシア中央銀行のデータを基にキャピタル アセットマネジメントで作成

以上